

オンデマンド オンライン セミナー

AI を活用した eラーニング プログラム制作

事実をありのままに伝え、実際の行動につなげる戦略を。

出演するライオンブリッジのエキスパート:

ジャスミン チェイビス

シニアトレーニングデザイナー

ベッツィー トッテン

グローバル コンテンツ担当
プログラム マネージャー

フィル ケネディ

マネージド サービス担当ディレクター



本ウェビナーの目標



関連する AI ツールのオプションと、eラーニング開発およびコース内で AI を利用することのメリットを確認する



自社における AI 利用を評価するための例と推奨される次のステップを共有する



AI ベースの開発をライオンブリッジがどのようにサポートできるかを理解する



AI を効果的に適用できる領域の特定

AI を利用すべきかどうかを評価する方法

AI テクノロジーについて、自社におけるニーズ、目標、導入したい機能を余すところなく把握しましょう。

1

学習目標の特定

eラーニング プログラムにおいて達成したい目標を明確にします。学習者の意欲を高める、学習パスをパーソナライズする、評価を自動化する、コンテンツ デリバリティを向上させる、などです。

2

既存の課題の把握

eラーニングに関する現行の戦略における問題点を特定します。学習者が困難を感じている領域はないか、講師が時間を過度に費やしている領域はどこか、学習意欲が低い領域はどこか、などを調べます。

3

AI の機能の理解

利用可能な各種の AI テクノロジー (マシン ラーニング、自然言語処理、予測分析など) を調査し、それらが自社の特定の課題の解決や目標の達成にどのように役立つかを検討します。

4

データを利用できるかどうかの分析

AI を使用して、LMS/LRS 内でのコンテンツ キュレーションなどの用途のために分析できる、十分な量の適切なデータがあるかどうかを評価します。このようなデータは、AI システムを効果的に機能させるうえで不可欠です。

5

費用対効果の分析

AI ソリューション導入に関連するコストを、導入により得られる可能性のあるメリットと比較します。有償ツールを購入する金銭的成本と、ツールの使用方法の習得に要する時間の両方を考慮します。

6

拡張性と柔軟性

検討する AI ソリューションが自社のニーズに合った拡張性を備えており、将来における eラーニング戦略の変更に対応できるかどうかを評価します。

7

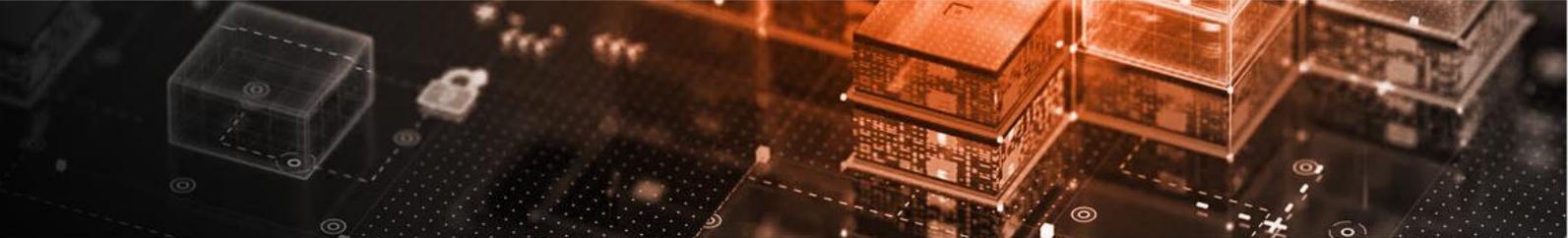
ユーザー エクスペリエンス

検討する AI ソリューションが、複雑化を招くことなく学習者のエクスペリエンスを向上させるかどうかを確認します。ユーザー エクスペリエンスの品質は、学習者と管理者の両方にとって重要です。



AI ソリューション

AI の効果的な利用



学習に関する ニーズ	ソリューション	強み	制約
講師とコース設計 担当者のサポート	<ul style="list-style-type: none">AI を活用した分析複数のフォーム ファクター間での コンテンツの変換 (複数のトレーニング 資料でのコンテン ツの再利用)	<ul style="list-style-type: none">講師とコース設計担当者が費やす時間と 労力が大幅に減り、より戦略的なタスク に注力できるようになる。異なるタイプのトレーニング資料の間で品 質とスタイルの一貫性を確保できる。トレーニング プログラムを迅速かつ簡単に 拡張できるようになり、多様で幅広い層 の学習者のニーズに対応できる。費用対効果を高められる可能性がある。コースのコンテンツにアクセスしやす くなる可能性がある。コンテンツのどのフォーマットが最も効果的か に関する知見が得られる。講師とコース設計担 当者が、コンテンツ デリバリー戦略に関す る意思決定を十分な情報に基づいて行え るようになる。	<ul style="list-style-type: none">AI によるオリジナルのコンテ ンツのニュアンスやコンテキス トの把握は、必ずしも正確でな い場合がある。偏見セキュリティとプライバシー に関する懸念テクノロジーとインフラストラ クチャに対する専門的スキルと 資金の投入が必要になる。変換されたコンテンツの正確性、 妥当性、品質を維持するために、 人による継続的な監督が必要 になる。



AI ソリューション

AI の効果的な利用

学習に関する ニーズ	ソリューション	強み	制約
自動評価	自然言語処理 (NLP)	<ul style="list-style-type: none">迅速な処理構想/設計とコンテンツの再利用をサポートする。	<ul style="list-style-type: none">AI の出力が不正確または偏見を含むものになることがある。セキュリティ
コンテンツ デ リバリーの強化	コンテンツ推奨 エンジン*	<ul style="list-style-type: none">時間の節約と学習プロセスの強化が可能。カスタマイズされた学習エクスペリエンスを提供し、学習者の意欲を維持できる。	<ul style="list-style-type: none">データ プライバシー偏見多様なコンテンツへのアクセスが制限される可能性がある。
コンテンツの 品質向上	構想とコース設計 コースのテキスト コンテンツ <ul style="list-style-type: none">ブレインストーミング共同でのテキスト作成推敲	<ul style="list-style-type: none">コース設計の初期計画における構想/設計の迅速化をサポートし、一貫性を向上させる。クリエイティブなプロセスが強化され、新しい構想の提案が促進される。コンテンツ資料の全体にわたり文体とスタイルの一貫性が維持される。	<ul style="list-style-type: none">AI が生成するコンテンツは高い水準を満たさないことがある。偏見データ セキュリティおよびプライバシー定型的な、または深みのない印象のコンテンツが生成される場合がある。



AI ソリューション

AI の効果的な利用

学習に関するニーズ	ソリューション	強み	制約
視覚的な学習支援	画像の生成 コース用の画像/動画 アセットの作成	<ul style="list-style-type: none"> 迅速な生成 コース開発費用を削減できる可能性がある。 AI ならではの目新しいクリエイティブな画像が得られる。 	<ul style="list-style-type: none"> コースの全体的なデザイン品質と信頼性が損なわれる可能性がある。 調整や品質向上のために、グラフィック デザイナーによる追加作業が必要になる場合がある。 多数の画像や動画にわたってスタイルと品質の一貫性を確保することが困難になる場合がある。 ビジュアル アセットが倫理的で偏見を含まないことを保証するには、入念なモニタリングとフィルタリングが必要になる。 技術的問題
アクセシビリティの向上	AI 音声 AI アバター	<ul style="list-style-type: none"> 作成の所要時間が短く、コンテンツの変更があった際に人間のプロによる VO よりも更新が容易である。 さまざまなタイプの学習者にリーチするための選択肢が増える。 コース制作の全体的な費用を削減できる可能性がある。 コースの迅速な拡張が容易になる。 全世界の学習者向けに、コース コンテンツをよりインクルーシブかつ適切なものにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ロボットのように聞こえる場合があり、発音、イントネーション、感情表現をチェックする必要がある。 フォトリアルなアバターは、自然な表情や身振りができない場合がある。 文化面のニュアンスや配慮を要する内容を、必ずしも正確に把握できない場合がある。 学習者の意欲や満足度を低下させる可能性がある。



AI ソリューション

AI の効果的な利用

学習に関するニーズ

ソリューション

強み

制約

学習者の意欲向上

コース内でのチャットボットの使用

- 学習者の意欲が向上する。
- 標準化された形式で、パーソナライズされたフィードバックを学習者から直接取得できる。
- 優れた拡張性
- 学習者の取り組みに関するデータ

- AI の出力が不正確または偏見を含むものになる場合がある。
- セキュリティ
- 共感の欠如
- 技術的な問題が生じたり、理解が阻害されたりする可能性

パーソナライズされた学習パス

マシン ラーニング アルゴリズム*

- 学習者の意欲が向上する。
- 学習者のニーズに効率的に対処し適応できる。

- データ プライバシー
- 偏見
- 技術的な複雑さとリソースへの高負荷
- データの品質と量に大きく影響される。



AI ツール の 利用 コース開発における例



コース設計の例

マイクロラーニングのためのコンテンツの概要

■ プロンプト

I am an instructional designer and writing a short, 10 [minute](#) online, [microlearning](#) course on AI Readiness in [elearning](#) initiatives. Emphasize this key message: Thorough understanding of your needs, goals, and the capabilities of AI technologies. Write a content outline for the course using a cognitive approach to suggest interactive activities, on-screen text, and voiceover.

Refer to this source content.

Identify Learning Objectives:

1. Determine what you aim to achieve with your eLearning program. Are you looking to improve learner engagement, personalize learning paths, automate assessments, or enhance content delivery?

2. Evaluate Existing Challenges:

1. Identify the pain points in your current eLearning strategy. Are there areas where learners struggle, where instructors spend too much time, or where engagement is low?

3. Understand AI Capabilities:

1. Research the various AI technologies available (e.g., machine learning, natural language processing, predictive analytics) and how they can address your specific challenges and objectives.

4. Analyze Data Availability:

1. Assess whether you have sufficient and relevant data for AI to analyze. AI systems rely heavily on data to function effectively.

5. Cost-Benefit Analysis:

1. Consider the costs associated with implementing AI solutions versus the potential benefits. This includes both financial costs and time investment.

6. Scalability and Flexibility:

1. Evaluate whether the AI solution can scale with your needs and adapt to future changes in your eLearning strategy.

7. User Experience:

1. Ensure that the AI solution enhances the learner's experience without adding complexity. User-friendliness is crucial for both learners and administrators.

■ 出力

Content Outline for Microlearning Course on AI Readiness in eLearning Initiatives

Introduction

- **On-Screen Text:** "Welcome to the AI Readiness in eLearning Initiatives Microlearning Course"
- **Voiceover:** "In this short course, you'll learn how to prepare your eLearning programs to effectively integrate AI technologies. Let's get started!"

Module 1: Identifying Learning Objectives

- **On-Screen Text:** "Learning Objectives: What do you aim to achieve?"
- **Voiceover:** "Before implementing AI, it's essential to determine what you aim to achieve with your eLearning program."
- **Interactive Activity:**
 - **Activity:** Drag-and-drop exercise where learners match different objectives (e.g., improve learner engagement, personalize learning paths, automate assessments) to their descriptions.
 - **Feedback:** Immediate feedback is given for correct/incorrect matches.

Module 2: Evaluating Existing Challenges

- **On-Screen Text:** "Identify Pain Points in Your Current eLearning Strategy"
- **Voiceover:** "Understanding the existing challenges in your eLearning strategy is crucial for identifying where AI can be most beneficial."
- **Interactive Activity:**
 - **Activity:** Interactive quiz where learners select common pain points from a list (e.g., low engagement, high instructor workload).
 - **Feedback:** Explanations for each choice to reinforce learning.

Module 3: Understanding AI Capabilities



コース アセットの例

画像の生成

Generate AI Image [Image generation is an experimental feature. Learn how to get the best results.](#)

Description
Add details about the image.

close up of a woman working on a computer in a modern decorated office with light shining through the window.

Style
Choose an image style.

None

Aspect ratio
Choose your image orientation.

Generate Again



[Download all](#)

Generate AI Image [Image generation is an experimental feature. Learn how to get the best results.](#)

Description
Add details about the image.

Close up of a woman standing in a modern decorated office with light shining through a window

Style
Choose an image style.

None

Aspect ratio
Choose your image orientation.

Generate Again



[Download all](#)



コース設計の例

ゲーム形式のレベル 3 インタラクティブ コースのコンテンツの概要

■ プロンプト

I am an instructional designer and writing a short 10 minute online, escape room course on data compliance. write a content outline for the course including suggested activities, on-screen text, and voiceover.

■ 出力

Data Compliance Escape Room Course Outline (10 Minutes)

Introduction (1 minute)

- **On-Screen Text:**
 - "Welcome to the Data Compliance Escape Room!"
 - "Your mission: Navigate through challenges to ensure data compliance. Are you ready?"
- **Voiceover:**
 - "Welcome, agents! Your mission today is to navigate through a series of challenges related to data compliance. Each challenge will test your knowledge and decision-making skills. Let's get started!"

Challenge 1: Identifying Sensitive Data (2 minutes)

- **On-Screen Text:**
 - "Challenge 1: Identify which types of data are considered sensitive."
 - "Drag and drop the correct data types into the 'Sensitive Data' box."
- **Voiceover:**
 - "In this challenge, you need to identify which types of data are considered sensitive. Drag and drop the correct data types into the 'Sensitive Data' box."
- **Suggested Activity:**
 - Interactive drag-and-drop activity with data types like Social Security Numbers, Credit Card Information, Birthdates, Email Addresses, etc.
- **Feedback:**
 - **Correct:** "Great job! You've correctly identified the sensitive data."
 - **Incorrect:** "Oops, that's not quite right. Sensitive data includes information like Social Security Numbers and Credit Card Information. Try again!"

Challenge 2: Data Encryption (2 minutes)

- **On-Screen Text:**
 - "Challenge 2: Secure the data using the correct encryption method."



コース アセットの例

画像の生成





コース アセットの例

画像の生成





コース インタラクションの例

チャットボットの例



あなたの回答:

社会保障番号と生年月日は機密データであると思いますが、メールアドレスとクレジットカード情報はどうか分かりません。

フィードバック:

惜しかったです。社会保障番号と生年月日が機密データであるという回答は正解です。しかし、メールアドレスとクレジットカード情報も機密データと見なされます。

機密データには通常、ID 窃取や不正行為に使用される可能性のある個人情報と財務情報が含まれます。重要な概念を復習して、もう一度挑戦してみましょう。



メリットのまとめ



eラーニングの開発 に AI ツールを使用 することのメリット

- 時間とコストの節約
 - フォーマット設定、クイズの作成、コンテンツの整理などの反復的なタスクを自動化することで、コース設計者がコース設計の戦略的側面に注力できるようになる。
- コンテンツの多様さによる意欲の向上
 - コース開発のあらゆるステージにおいて、AIにより、コース設計者向けの学習リソースと学習者向けの学習アセットの多様なオプションが提示される。



コース内で AI を利用 することのメリット

- AI 活用型のチャットボットとバーチャルチューターは、リアルタイムのフィードバック、質問への回答、説明を提供するため、継続的な学習サポートをより簡単に実施できる。
- 音声ベースのインタラクションと評価により、学習にアクセスしやすくなり意欲が向上する。特に、言語学習やコミュニケーション能力の開発に有効。
- リアルタイムの翻訳、発話内容のテキスト変換、パーソナライズされた環境設定により、アクセシビリティが向上する。



AI プロジェクトを管理するために必要なこと

推奨事項と考慮すべき事項

- 開発チームにトレーニングを提供し、AI ツールの導入と利用の方法を明確に理解できるようにする
 - AI ツールにおける制約への対処方法について議論し、その内容を文書化する
- 最新のワークフローを確立して導入する
 - 既存のワークフローとタイムラインにもたらされる影響を考慮する
 - ・ チームメンバー間でタスクを調整してもよい
 - 必要なリソースと、ポストエディット、統合、テストのタイミングを決定する
 - 標準の開発ツールの代わりに AI を使用することで生じるコストに基づき、制作コストの情報を更新する
- 大規模なコンテンツ制作プログラムの拡張に向けて
 - ソースコンテンツが利用可能であるかチェックする
 - 一貫性を確保するために、まずコースの構造を標準化する



AI の導入を成功させるには プロセスへの影響/向上

1

自社の eラーニングに関するイニシアティブにおいて、AI を効果的に適用できる領域を特定する (現実的で妥当なツールのオプションの選定も含む)

1. スライド 1 の質問を使用して、ニーズの分析を行う
2. スライド 2 のツールリストを使用して既存のツールおよびプロセスを比較し、AI を効果的に適用できる領域を検討する

2

既存の開発プロセスを更新し、AI ツールを統合する

3

新しいプロセスに従ってコース開発のパイロットを実施する

4

必要に応じてプロセスの評価と修正を行う



このプロセスをライオンブリッジがお手伝いいたします。



Q&A



ご視聴ありがとうございました

当社は障壁を打ち破り、架け橋を築くことで、世界中で新しいチャンスを生み出します

LIONBRIDGE